



下関北高校だより

(令和3年12月24日発行)

山口県立下関北高等学校

〒759-5511 下関市豊北町滝部 1003 番地
TEL(083)782-0023 FAX(083)782-0183

高校生活の様子は下関北高校HPでも紹介しています。

<http://www.shimonosekikita-h.ysn21.jp>

■ 地域探究Ⅰ・Ⅱ「環境・自然」グループの活動紹介

9月30日の地域探究「環境・自然」グループの活動は、油谷湾クルーズを行いました。島戸にある渚の交番の方々の御協力によって、プレジャーボートで油谷湾を渡りました。スピードと迫りに圧倒されながらも景色や海の香りを満喫しました。道中、角島大橋のそばにある鳩島や油谷の西端にある俵島を観察しました。角島～向津貝半島一帯は玄武岩で構成されており、壮大な柱状節理を見ることができました。また、油谷島に渡ってからは、百姓庵の塩場を見学しました。沖のプレジャーボートから岸まではクリアカヤックに乗り、美しい海底を眺めながら上陸し、塩づくりのお話を伺いました。油谷湾の塩は、海流が運んでくる栄養分と粟野川などの大きな川から運ばれてくる栄養分がミックスされるため、おいしい塩ができることを学びました。私たちの住んでいる地域が、改めてきれいな水と豊かな自然に恵まれていることを実感できた1日でした。



■ 交通安全教室を実施しました。

10月14日(木)の7限に、アイルモータースクール下関の原田泰伸様(日本交通心理学会 交通心理士、国土交通省認定 第一種カウンセラー)と田村泰正様をお迎えして、交通安全教室を実施しました。

本校生徒の通学方法は、列車・自転車ほとんどです。列車通学の生徒は駅から学校まで徒歩で通学しているため、今年度は、交通安全上の留意事項や危険予測力・回避能力の向上、なぜ交通事故が発生するのか等について、ご指導いただきました。

原田様は、大津市園児死亡事故、八街小学生死亡事故、高校生による仮免許運転中の死亡事故などの悲惨な交通事故の状況から講話を始められました。

その後、事故発生状況と特徴、自転車のルール、もしもに備えて、事故に遭わないために、の4つのテーマについて丁寧に説明されました。とくに、高校生の交通事故として多い自転車事故については、たくさんの時間を割かれました。道路形状別発生状況ではカーブよりも直線道路で事故が多いこと、高校生の交通事故は朝の時間帯が多いこと、下関市内の自転車通学の動画から、一旦停止をせずに通学している様子などを見せながら、出会いがしらの自動車との事故が多く起きている現状を話されました。

また、自転車安全利用5則 1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外 2. 車道は左側を通行 3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行 4. 安全ルールを守る(飲酒運転・二人乗り・並進の禁止 夜間はライトを点灯 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認) 5. 子どもはヘルメットを着用 を遵守することによる交通安全を呼びかけられました。

講話の後に交通委員長の河田大輝君が「高校生が多く自転車事故を起こしていると聞いて驚きました。このような事故を起こさないように、また被害者にならないように、自分たちができる工夫を今日からしていきたいと思います。」と謝辞を述べ交通安全教室が終了しました。

冬場は日が暮れるのが早く、暗い中を下校する機会も増えます。ドライバーからは、黒い制服は見えにくいもの。こうしたことも予測しながら、交通安全をはじめとする様々な安全に十分注意してもらいたいと思います。



■ 下関市立こども園を訪問しました。

地域探究「保育・福祉」グループ12名が下関市立豊北こども園を訪問しました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、なかなか訪問が叶いませんでした。2学期になってやっと1回目を実現しました。

昨年度の経験者を中心となって訪問時の計画を立て、細かい部分を詰め、挨拶を何度も練習するなど事前に綿密な計画を立てました。

この日は、訪問の挨拶の後全員で「じゃんけん列車」をして緊張をほぐしました。その後3つのグループに分かれて「鬼ごっこ、ブランコ、園庭遊び」「ハンカチ落とし」「魚釣り」を順番に楽しみました。良い天気恵まれ園庭遊びのグループは、厳しい残暑に参ってしまいました。

生徒は「子供は褒めてあげるとうれしそうに微笑んで活発に動いてい



た。」「先生は大きなアクションで子供たちをほめていて、園児もとてもうれしそうにしていた。」「準備したことがうまくいくか心配だったが、うまく遊べてよかった。」「遊び方のルールをちゃんと聞いてくれたので上手に遊ぶことができた。」「逆に「簡単に説明したけど、なかなか伝わらず、子どもにわかるように説明することは難しいと思った。」などの感想を持ったようでした。「園庭で駆け回っていた園児がこけて泣いてしまい、その対応がうまくできなかった。」「園児と話す時は目線を合わせて話しかけたい。」「安全に配慮して遊ぶことが大切。」「特定の子どものしか楽しめていなくて、ただ座っているだけで終わってしまった。一人ひとりに気を配り全員が楽しめるようにしたい。」などの課題も見つかり、解決に向けて今後の活動を続けたいと思います。



■ 1年生大学見学、2年生上級学校見学

10月19日(火)、1、2年生はバスに乗って大学見学、上級学校見学へ行ってきました。

新型コロナウイルス感染症の対策を徹底して、1年生は山口大学、山口県立大学へ、2年生は2つのグループに分かれて、第1グループは九州医療スポーツ専門学校に第2グループは九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学・下関市立大学に伺うことができました。残念ながら第1グループは午後企業訪問の予定でしたが人数とコロナの影響で回えませんでした。

1年生は山口大学で全体説明の後、4学部の説明を生徒の希望に合わせて聞かせていただきました。山口県立大学では、栄養学科の模擬講義の後、施設見学や全体説明をしていただきました。先輩の実験の様子も見ることができ、より身近に大学を感じることができました。

2年生の第1グループは九州医療スポーツ専門学校で全体説明の後、ねんざをした時のテーピングの方法を実習したり、鍼灸の針やもぐさを見たり、つぼを押す実習をしました。第2グループの九州栄養福祉大学では学部に分かれて説明の後に、保育や栄養の授業で使用される実習室の見学をさせていただきました。下関市立大学では模擬授業を体験させていただきました。



天候にも恵まれ、1年生は大学の大きさ、設備の充実度、学生の自由な様子など、普段見ることのできない大学の様子を見せていただき、大変充実した見学になりました。

2年生は専門学校・大学・短期大学と進路決定を意識した訪問となり、昨年度とは違った真剣さが見受けられました。

新型コロナウイルス感染症による様々な配慮等が必要であり、各大学・専門学校の関係者の皆様には大変なご尽力をいただいたことと思います。生徒は大学・専門学校という場所の雰囲気を感じることができ、今後の学習や進路に対するモチベーションが向上したと思います。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

■ 豊北梨のフルーツサンドと梨ソーダを試作しました。

10月21日(木)、地域探究Ⅰ・Ⅱの観光・産業コースでは、地域の特産品を使用した商品開発に向けて、豊北梨のフルーツサンドと梨ソーダを試作しました。

これらの企画は、本コースの生徒一人ひとりが考えた14(13人)の企画のうち、生徒全員による投票で実際に試作するものとして選ばれたものです。商品開発担当主任は、フルーツサンドが2年生の中塚愛美さん、梨ソーダが3年生の松尾優菜さんで、各主任が試作の手順などを他の生徒に説明しながら、協力して楽しく調理ができました。

フルーツサンド、梨ソーダとも、同じレシピでも各班によって違いが見られ、個性が現れていました。また、フルーツサンドの余ったパンの耳を加工して、揚げパン風ラスクを作るなど、食品ロスがないよう工夫しました。

先生方にもフルーツサンドを試食していただきましたが、「梨が柔らかい方が良い」、「梨は白っぽいので、色のあるフルーツも挟んでもいいかも」など、貴重な助言をいただきました。

試作してわかった改良すべき点については、今後、研究を進めていきたいと思います。



■ ほうほくワークキャラバンが開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各地でイベントの中止が相次いでいます。豊北町地域においても、地域活性化の一翼を担ってきた「豊北夏まつり」が2年連続で中止になりました。このままでは地域のコミュニティの衰退が懸念され、下関市内でも特に過疎化が進む豊北町地域において、子供達の思い出作りとなる場が失われています。そこで下関商工会青年部豊北支部の主催でコロナ禍における地域活性化の実現を図るため、10月23日(土)に「ほうほくワークキャラバン」が豊北総合運動公園で開催されました。

商工会青年部に所属する地域の企業が、自社の特殊車両や機械を提供し、子供達に操作を体験させる「地域企業のおしごと体験」、火を使わないLEDランタンを子供達に無料で配布し、願い事とともにオリジナルのランタンをつくり、夜空に飛ばして幻想的な空間をみんなで作りあげる「スカイランタン」、子供達が、日々積み重ねてきた努力の成果を披露する「ミニステージ」の3つの内容でイベントが行われました。

本校も地域活性化にお手伝いできればと、JRC部と吹奏楽部がこのイベントに参加しました。JRC部は「地域企業のおしごと体験」の各ブースでボランティアを行い、子供達への企業の説明や物品販売などを手伝いました。豊北町地域の企業の仕事内容なども学習でき有意義な体験となりました。

また、吹奏楽部は「ミニステージ」で2021年度吹奏楽部コンクール課題曲の「トイズ・パレード」や「好きだ。(Little Green Monster)」「宿命(Official 髭男dism)」「Mela!(緑黄色社会)」「Paradise Has NO BORDER(東京スカパラダイスオーケストラ)」の5曲を演奏しました。演奏後に自然と観客の皆さんの拍手が起こり、アンコール曲として「明日も(SHISHAMO)」を演奏してステージを締めくくりました。

今回のイベントが豊北町の活力や子供達の将来の懸け橋になればと思います。準備段階から丁寧に指導くださいました下関商工会青年部豊北支部の皆様、ありがとうございました。

